

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	長期性能検討小委員会		主 査 名：大野義照 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鉄筋コンクリート構造運営委員会)		委員長名：和田 章 主 査 名：平石久廣
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・RC 構造の性能評価および性能評価型設計法の確立、国際化への対応に重要である常時荷重（長期荷重）下のたわみやひび割れなどに関する諸問題について、既往の成果を整理するとともに、新たな解決に向けて検討する。</p> <p>・初年度：既往の研究の整理、諸外国指針等の調査</p> <p>・2 年目：現状に照らし合わせた時の設計法の問題点の抽出</p> <p>・3 年目：RC 規準の改訂に向けて、床スラブ及びひび割れ・たわみに関する現行規準の検討</p> <p>・4 年目：RC 規準改定原案の作成、大会 PD (2009 年) の準備、報告書の作成準備」</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>大野義照(大阪大学) 岸本一蔵(大阪大学工学研究科・幹事) 今本啓一(東京理科大学) 稲葉洋平(鹿島技術研究所) 太田義弘(竹中工務店技術研究所) 金子佳生(京都大学工学研究科) 楠原文雄(東京大学工学系研究科) 小柳光生(大林組技術研究所) 坂田弘安(東京工業大学建築物理研究センター) 佐々木仁(フジタ技術センター) 佐藤眞一郎(日本カイザー) 福島順一(第一工業大学) 前田信之(清水建設設計本部) 山野辺宏治(清水建設技術研究所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2008 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無： 無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. RC 規準付録の常時荷重下のひびわれ幅算定式の高強度コンクリートへの適合性を確認し、またたわみの算定法について新たな方法を検討し、それらの成果を RC 規準付録の改訂案に取り入れた。</p> <p>2. 常時荷重(長期荷重)に対する RC 構造の設計体系について検討し、報告書にまとめる準備を行った(委員会は 2008 年度で終了するが、報告書の作成まで活動する)。</p> <p>3. RC 規準 18 条床スラブの本文・解説、および付録の付 7.長期荷重時の変形とひび割れについて改訂原稿を作成した。 ほぼ当初の活動計画を達成した。</p>
委員会活動の問題点・課題	特になし